

令和6（2024）年度定時社員総会 第43回研究大会

開催期日・会場 2024年5月18日（土）：同志社大学

今出川キャンパス良心館

2024年5月19日（日）：同志社大学

今出川キャンパス良心館

	午 前	昼休み	午 後
17日 （金）			17:00～18:00 ■2023年度第5回理事会
18日 （土）	8:30 受付開始 9:10～10:10 定時社員総会 10:30～ 研究大会 10:50～11:30 基調講演	11:30～13:00 ◆打ち合わせ シンポジウム関係者 ■2024年度 第1回編集委員会 【午前】分科会関係者打ち合わせ	13:00～16:30 シンポジウム 17:00～18:30 情報交換会 Hamac de Paradis 寒梅館
19日 （日）	9:00 受付開始 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">分科会</div> 9:30～12:30【午前の部】 第1分科会 第2分科会 第3分科会 第4分科会	12:30～13:30 ■2024年度第1回理事会 【午後】分科会関係者打ち合わせ	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">分科会</div> 13:30～16:30【午後の部】 第5分科会 第6分科会 第7分科会



会場案内

◆5月17日(金) 理事会 会場 同志社大学 寧静館 4階会議室

◆5月18日(土) 第1日

定時社員総会・研究大会 基調講演・シンポジウム

・会場 良心館地下2番教室

情報交換会 寒梅館1階「Hamac de Paradis 寒梅館」(アマーク・ド・パラディ)

◆5月19日(日) 第2日 研究大会・分科会

・会場 良心館2階

交通案内・アクセスマップは、15 - 16頁をご覧ください。

参加申込要領

1. 研究大会／情報交換会の参加申込方法

4月12日(金) - 5月2日(木)の間にHPトップ新着情報欄に設けた「第43回研究大会申込はこちら」から必要事項を入力し、以下の要領により参加費を振り込んでください(参加費5月7日締切厳守)。

■申込期間 2024年4月12日(金)～5月2日(木)

【振込5月7日(火) 厳守】

必ず必要事項を入力した後に参加費振込をしてください。

配付資料は事前申込者数で準備しますので、期限内にお申込みいただけますようご協力をお願いします。申込フォームにて参加予定の分科会へのチェックをお願いいたします。

大会参加申込上限を400名、情報交換会定員100名として運営します。大会内容を収

めた映像の事後視聴を大会終了後受付しますので、ご活用ください。

※詳細につきましてはHPをご確認ください。

2. 参加費

(1) 研究大会…1名 5,000円 情報交換会…1名 5,000円

5月7日(火)(厳守)までに以下の口座に振り込んでください。

三菱UFJ銀行八王子支店 預金種別：普通

口座番号：0787593 口座名義：一般社団法人全国私立大学教職課程協会

振込の際、必ず 地区番号、申込(代表)者氏名を入力してください。この記入がないと入金の確認がとれない場合があります。

【地区番号 北海道地区1、東北地区2、関東地区3、東海・北陸地区4、京都地区5、阪神地区6、中国四国地区7、九州地区8、その他99】

【2名以上一括振込・振り込み名義が変更できない場合】

参加費を2名以上一括で振込を行う場合や、振り込み名義の変更ができない場合は、必ず参加申し込みをした後で振込を行い、メールにて1. 地区番号、2. 大学名、3. 参加者全員の氏名を以下のメールアドレスにてお知らせください。

メールによる連絡とし、件名を【2名以上一括振込】

または【参加費振り込み名義】としてください。

京都橘大学 教職保育職支援センター(教学事務部 人文系事務課)

tpsc@tachibana-u.ac.jp

【校費一括払い】

校費一括払いを希望の場合、参加申込はこの申請とは別にあらかじめHPから行ってください。

1 大学2名以上の場合のみ受け付けます。事務体制に限りがあるため、申込開始の4月12日(金)から4月22日(月)までの間に協会事務局info@zenshikyo.orgにて「校費一括払い申請書」をメールにより請求してください。請求のあった大学には申請書をお送りいたしますので、4月24日(水)までに必要事項をご入力の上ご返送をお願いします。校費一括払いの入金の締め切りは5月24日(金)とさせていただきます。締め切りを過ぎての受け付けは一切行いません。その場合は通常の振り込みをしてください。

申込期間を過ぎた取消、変更は参加費の払い戻しができません。ご注意ください。

3. お問い合わせ先

○校費一括払い・定時社員総会に関するお問い合わせ先

一般社団法人全国私立大学教職課程協会事務局

東京千代田区永田町

E-mail: info@zenshikyo.org

※電子メールのご利用にご協力ください。

○研究大会、情報交換会への参加申込・取消、参加費振込(2名以上一括振込・振り込み名義が変更できない場合)、領収書に関するお問い合わせ先

京都橘大学

担当課：教職保育職支援センター(教学事務部 人文系事務課)

TEL: 075-574-4434

FAX: 075-574-4174

E-mail: tpssc@tachibana-u.ac.jp

受付時間：平日8：45～17：15（11：10～12：10は除く）

※電子メールのご利用にご協力ください。

○会場に関するお問い合わせ先

同志社大学

担当課：教育支援機構 免許資格課程センター事務室

TEL：075-251-3208

FAX：075-251-3207

E-mail：ji-menky@mail.doshisha.ac.jp

受付時間：平日9：00～11：30、12：30～17：00

（4月30日～5月2日は休業しております）※電子メールのご利用にご協力ください。

4. 両日の昼食について

5月18日（土）は学内食堂（良心館食堂 良心館地下1階）の利用が可能です。

営業時間 10:00 - 15:00

5月19日（日）は大学内食堂がお休みのためキャンパス周辺（徒歩5分圏内）の定食屋またはコンビニエンスストアやスーパー等をご利用ください。昼食のご持参を推奨します。

■各分科会の会場、各分科会打ち合わせの会場、2024年度第1回理事会
第1回研究委員会会場について、当日受付にてご案内いたします。

第 1 日

2024 年 5 月 18 日 (土)

■受付開始…8:30

◆受付場所・会場…同志社大学 良心館地下 2 番教室

◆定時社員総会

9:10 ~ 10:10

◆研究大会

10:30 ~ 16:30

基調講演・シンポジウム

◆情報交換会

17:00 ~ 18:30

令和6(2024)年度定時社員総会

議決は事前に議決権行使者に登録済の方に限ります。

定時社員総会の時間帯は議決権行使者以外の方は別室での待機をお願いします。

総会議案書は4月19日前後に送信します。

9:10 ~ 10:10

《 次 第 》

1. 開会

2. 議長団選出

3. 議 事

第1号議案 2023年度活動報告及び収支決算に関する件

1. 2023年度活動報告

1) 会務報告

2) 委員会活動報告

3) 各地区協議会活動報告

2. 第8期(2023年度)収支決算報告

3. 2023年度会計監査報告

第2号議案 役員を選任に関する件

第3号議案 2024年度事業計画(案)及び収支予算(案)に関する件

1. 2024年度事業計画(案)

2. 第9期(2024年度)収支予算(案)

議事終了

新規加盟大学紹介

2024年度研究交流集会開催地区・会場大学

2025年度研究大会開催地区(予定)

4. 閉会

「令和の日本型学校教育」を支える教員の育成を目指して —元気になろうよ！教職課程—

総合司会:倉 持 祐 二 氏 (京都橘大学 教授)

10:30 会長挨拶 …………… 小 原 芳 明 氏 (学校法人玉川学園理事長)

会場校挨拶 …………… 小 原 克 博 氏 (同志社大学学長)

10:50—11:30 :基 調 講 演: 「令和の日本型学校教育」を担う

教師の養成・採用・研修等の在り方について

講師: 後 藤 教 至 氏 (文部科学省総合教育政策局教育人材政策課長)

昼 休 み 11:30 ~ 13:00

13:00—16:30 シンポジウム : 元気な教職課程をどう創るか —新たな教職課程における教育実践の創造—

報告1: 学生のモチベーションを高める教職課程を目指して—現場や他大学と連携して—
森 靖 明 氏 (北翔大学 教授)

報告2: 「育ての、文教」の、教職支援のこれまでとこれから
近 藤 研 至 氏 (文教大学 教授)

報告3: 4年間の追跡調査を踏まえた、教員免許状取得希望者への支援の在り方
藤 平 敦 氏 (日本大学 教授)

報告4: 玉川大学における学校での多様な体験活動による理論と実践の往還
高 野 修 司 氏 (玉川大学教師教育リサーチセンター長)

報告 5: エリザベト音楽大学における教員育成の特色 — 専門教育による効果を中心に
佐 々 木 悠 氏 (エリザベト音楽大学 准教授)

司会 滝沢和彦氏 (育英大学 教授)
原清治氏 (佛教大学 教授)

17:00 ~18:30 情報交換会 同志社大学 寒梅館 1階

Hamac de Paradis 寒梅館

第 2 日

2024 年 5 月 19 日 (日)

■受付開始…9:00

◆会 場…同志社大学 良心館 2 階

※各分科会会場は、当日受付にてお知らせいたします。

◆午前の部 9 : 30 ~ 12 : 30

◆午後の部 13 : 30 ~ 16 : 30

第1分科会

〔企画：東北地区協議会〕

これからの教師に求められる 資質能力の育成を図るための教員養成の在り方

○趣旨： 全国的に18歳人口が減少する中、特に東北地方では急減と言える状況に直面している。このような状況の中でも、教員に求められている知識・技能、資質・能力などは多岐にわたっている。

本分科会では、教員に求められる力を養成課程の段階でどのように育むのか、あるいは学校現場でどのように高めていくのかを、18歳人口の減少によって生じている難しさとその手立てを中心に整理、検討していく。

○司会者：菅原俊彦（東北福祉大学）

○記録者：松本真奈美（尚絅学院大学）

○発表者：① これからの教師に求められる資質能力の育成を図るための教員養成の在り方

佐々木健太郎（尚絅学院大学）

② これからの教師に求められる資質能力の育成を図るための教員養成の在り方

今野孝一（宮城学院女子大学）

第2分科会

〔企画：関東地区協議会〕

教職課程コアカリキュラムについて考える

—現状と歴史的観点から—

○趣旨： 2019年度より教職課程コアカリキュラム（以下、コアカリと表記）に対応した教職課程カリキュラムが実施されている。2017年半ばにコアカリの内容が示され、各大学が課程認定の対応に追われた記憶はまだ新しい。コアカリは「教職に関する科目」について共通的に身に付けるべき最低限の学習内容を示したもので、その意義を評価する声もある一方、コアカリ作成のプロセスにおいて教育関連学会との連携を図らなかったことや、開放制による教員養成の存続が難しくなる恐れがあることなどの問題点・課題も指摘されてきた。

本分科会では、コアカリ実施から5年を経た現在における教職課程担当者の状況報告に加え、教職課程の戦後史という歴史的観点も交えつつ、コアカリについて改めて検討する。

○司会者：高瀬幸恵（桜美林大学）／尾高 進（工学院大学）

○記録者：岡田佳子（芝浦工業大学）

○発表者：1. 教職課程担当者としての観点から……………

①古賀 徹（日本大学）

②古賀 毅（千葉工業大学）

③田村真広（日本社会事業大学）

④大島 宏（東海大学）

2. 教職課程の戦後史の観点から…………… ⑤山崎奈々絵（聖徳大学）

第3分科会

〔企画：中国・四国地区協議会〕

各大学における教員採用選考試験の早期化・複数回実施等への対応策 ～その現状と課題～

○趣旨： 令和5年5月31日、文部科学省より公立学校教員採用選考試験の早期化・複数回実施等について、方向性の提示がなされた。これを受けて、全国各地の教育委員会においては、試験日程の早期化をはじめ、3年次受験や前倒しでの試験実施など、自治体により様々な試験内容となっている。同じ中国・四国地区内においても、広島、山口、岡山の3県と四国4県の試験内容や実施方法はかなり異なっている状況である。また、各大学には中国・四国地区以外の他の自治体受験者も在籍していることから、多様化・複雑化している教員採用試験への対応が急務となっている。

これらを踏まえ、本分科会では、教員採用選考試験の早期化・複数回実施への対応策についての情報交換を行うことにより、教職を目指す学生の志望に資する手立てについて検討していきたい。

○司会者：佐伯育郎（広島文教大学）

○記録者：牧瀬翔麻（広島修道大学）

○発表者：① 「教員採用選考試験の早期化・複数回実施等への対応：その現状と課題・山口県の場合」
……………香月正登（梅光学院大学）

② 「教員採用選考試験の早期化・複数回実施等への対応：その現状と課題・広島県の場合」
……………梶田英之（比治山大学）

③ 「教員採用選考試験の早期化・複数回実施等への対応：その現状と課題・岡山県の場合」
……………前田一誠（環太平洋大学）

④ 「教員採用選考試験の早期化・複数回実施等への地方私大における対応策と課題（仮）」
……………藤本 駿（高松大学）

第4分科会

〔企画：研究委員会〕

教職課程運営上の手続きについて

—課程認定・変更届等—

○趣旨： 2023年度に提出された課程認定申請および変更届等に関する議論を行います。まず、本年4月に全会員大学を対象として行った「教職課程運営に関するアンケート」の結果を紹介します。続いて、も文科学省の担当者から課程認定申請に関しての最新の情報を報告いただきます

○司会者：田子 健（研究委員会副委員長、東京薬科大学）／松山隆志（九州女子大学）

○記録者：森田真樹（立命館大学）

○発表者：① 「教職課程運営に関するアンケート」の結果とその特徴
……………研究委員会委員長 田中 泉（広島経済大学）

② 教職課程課程認定に関する講演（予定） ……………文部科学省担当官

第5分科会

〔企画：東海・北陸地区協議会〕

教職の魅力向上に向けた国立・私立大学間の連携の在り方 —高校生・大学生の進路選択の傾向を踏まえて—

○趣旨： 教師不足が叫ばれる中、教職課程を有する大学への進学者や教員採用選考試験受験者を増やすことが喫緊の課題である。本分科会では、まず高校生・大学生の教職への進路選択の傾向について検討し、現状を確認する。そのうえで、教職の魅力伝えて共に作るプラットフォームとして事業展開している愛知教育大学の実践：「教職の魅力共創」プロジェクトについて報告する。そして、同プロジェクトに参加している私立大学の立場からの報告も踏まえて、教職の魅力向上に向けた国立大学・私立大学の連携や教職の今後の展望、とりわけ私立大学として今後の教職課程をどう運営していくか、学生をどのように呼び込み、どのように指導していけばよいかについて考えていくことにする。

○司会者：小川 翔大（中京大学）

○記録者：原口 友輝（中京大学）

○発表者：①高校生・大学生の進路選択の傾向……………長谷川 哲也（岐阜大学）

②教職の魅力共創プロジェクトにおける連携—国立大学の立場から
……………竹川 慎哉（愛知教育大学）

③連携する私立大学の立場から(1)……………太田 誠（東海学園大学）

④連携する私立大学の立場から(2)……………丹下 悠史（愛知東邦大学）

第6分科会

〔企画：阪神地区協議会〕

教職課程のカリキュラム・オーバーロードを考える —開放制の教員養成を担う私立大学の立場から—

○趣旨： 大学の教職課程は、さまざまな学校教育の困難に対処できる人材を育成すべく、そのプログラムを充実させてきた。例えば、学力不足の問題があれば授業の充実を、発達障害や学習障害の問題が顕在化すれば、特別支援教育の知見と知識を学ぶように ICT 機器が発達すれば、それを活用した授業作りと学級経営と、教員の資質能力を向上させるべく、新しい科目が作られたりして、教職科目の充実が図られてきた。

もちろん、今の大変な学校現場を考慮すれば、カリキュラムを充実させ、即戦力として養成すること自体は間違っていない。しかしながら、昨今の教員不足の状況や教職課程履修者の減少を考えるに、カリキュラムの充実は正しいこととは言え、その効果については全面的に肯定できるものではないであろう。

また、教職課程の充実が進められる一方で、免許なしに特別免許（特例）で教員になれたり、教員免許をなしで採用試験を受けることができたりする自治体があり、さらには、4年制大学において2種免許を認める方向性が打ち出されるなど、矛盾した動きもある。

本分科会は、阪神地区の研究会で教育委員会の担当者から寄せられた意見も紹介しつつ、教員養成のあり方、教職課程のカリキュラムはどうあるべきか、教職課程の開放制を担う私立大学の立場から議論を深めたい。

- 司会者：水谷 勇(神戸学院大学)
- 記録者：池田 隆一(神戸学院大学)
- 発表者：①教職課程のカリキュラム・オーバーロード
—学生アンケートの結果を踏まえて—……………杉浦 健(近畿大学)
- ②大学生の教職志望の意識に関する近年の研究のレビューから
……………濱元伸彦(関西学院大学)
- ③採用と採用後の教師の成長を担う教育委員会の立場から
……………濱田忍 (神戸市教育委員会)
- ④中学教員から大学教員への転身で得た経験から教員養成を考える…西村晃一(摂南大学)
- ⑤高校工業科教員養成の現場から……………疋田祥人(大阪工業大学)

第7分科会

〔企画：特別委員会〕

教職課程自己点検・評価の成果を踏まえた教職課程教育の質的向上

- 趣旨： 全私教協特別委員会では令和4年度からの教職課程自己点検・評価の義務化に際して『「教職課程自己点検・評価報告書」作成の手引き』を刊行して会員校に提供してきた。報告書は当該教職課程の現状と課題について学内外に公表・情報公開することでその説明責任を果たすとともに、その作成作業を通して当該教職課程の質の保証とさらなる向上につながることを期待されるが、特に「取り組み上の課題」については、課題の指摘・説明にとどまってしまう、その克服・改善に向けての具体的な方策についての記述はまだまだ少ないのも事実である。そこで今回は、自己点検・評価の成果をもとに意図的積極的に教職課程教育の質的向上に取り組んでいる会員校からご報告をいただき、大いに学び合いたいと思う。
- 司会者：滝沢和彦（育英大学） / 武者一弘（中部大学）
- 記録者：加島大輔（東京薬科大学）
- 発表者：①「これまでの全私教協の取り組みと本分科会の課題」……………滝沢和彦（育英大学）
- ②「教職課程自己点検・評価の成果を踏まえた教職課程教育の質的向上」
……………小松伸之（清和大学）、上野耕史（白鷗大学）、藤本義博（岡山理科大学）
- ③「今後の教職課程質保証に向けて—教員養成政策の動向を踏まえて—」
……………森山賢一（玉川大学）

分科会発表の方にご案内

資料の送付先

下記あてに**5月14日（火）必着**でお送りください。分科会参加申込者数は、受付終了後、主催地区理事ないし分科会の責任者あてにご連絡します。この数に20を加えた数をお送りください。当日ご持参でも構いません。なお、期間中の大学内での印刷はできません。

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

E-mail: ji-menky@mail.doshisha.ac.jp

TEL: 075-251-3208

同志社大学免許資格課程センター事務室 担当者：赤木（あかき）

【必ず分科会名を記入のこと】

PCに関する情報

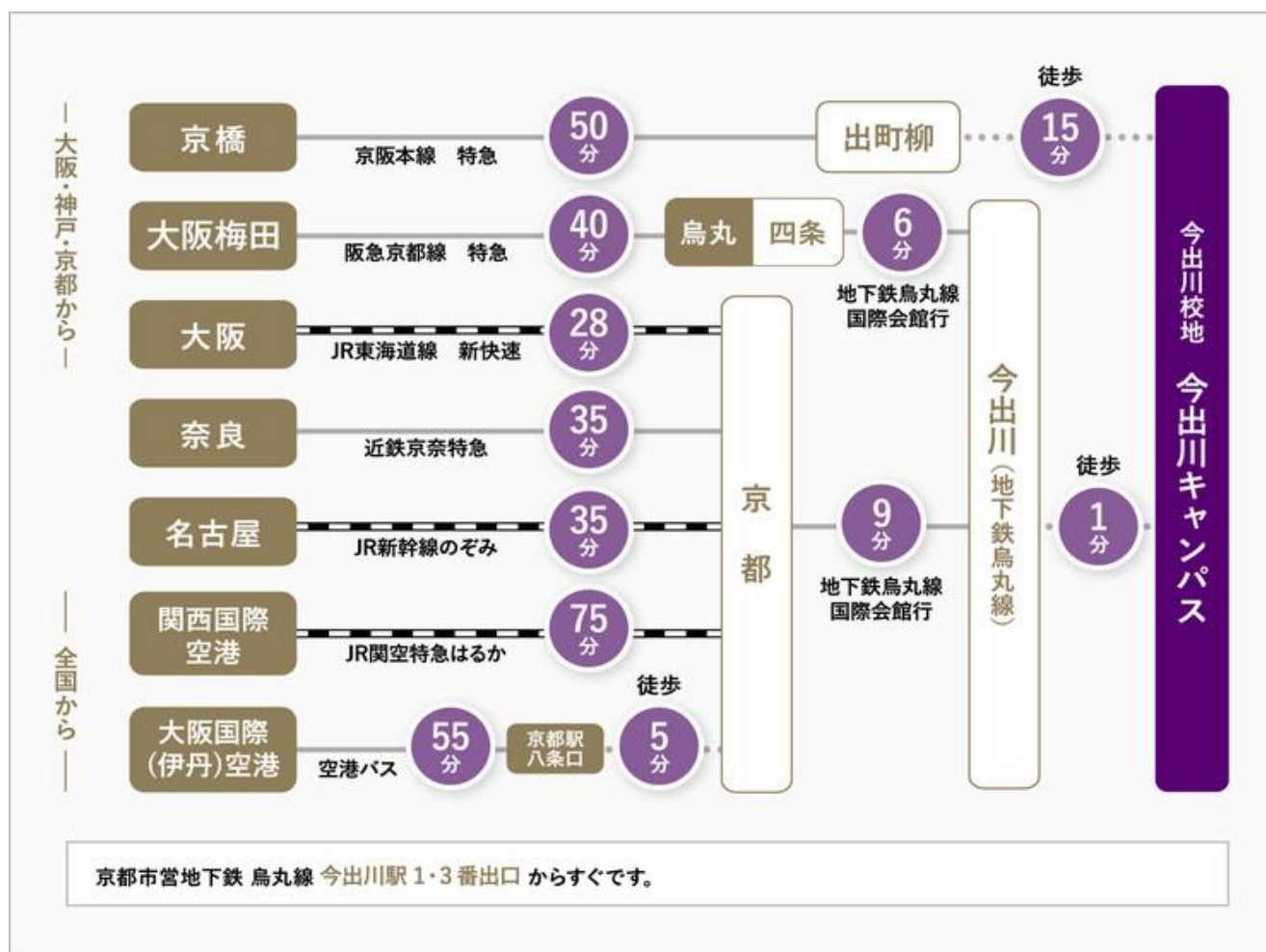
分科会会場となる教室にはノートパソコン（Windows11）が常設されており、パワーポイント等のプレゼンテーションが可能です。

以下同志社大学からのご案内

- ① 講師持参機材（Win, Mac, モバイル機器）をご利用になる場合はHDMI/RGB接続頂くことで概ね投影には問題ありませんが接続変換アダプターが必要な機器については利用者自身にて持参頂くようお願いします。
- ② 持参される機材（上記機器類）が適合しない場合に備え資料（ppt,ドキュメント）等は、別途持参または常設PCの利用についても考慮されることを推奨します。
- ③ 投影に当たり環境依存を懸念される場合は（Apple Keynote類）PDF等の互換性の高いファイルへ変換のうえ持参されることも検討願います。

同志社大学今出川キャンパスまでの交通案内

- 地下鉄烏丸線 「今出川」駅から徒歩1分
- 京阪電車 「出町柳」駅から徒歩15分
- バス停 「烏丸今出川」から徒歩1分



今出川キャンパスマップ



所在地： 〒602-8580 京都市上京区今出川通り烏丸東入

https://www.doshisha.ac.jp/information/access/index.html#access_imadegawa